

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【公開番号】特開2013-166365(P2013-166365A)
 【公開日】平成25年8月29日(2013.8.29)
 【年通号数】公開・登録公報2013-046
 【出願番号】特願2012-249355(P2012-249355)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【FI】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月10日(2015.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、インク滴を吐出する複数の吐出口からなる吐出口列を有する記録ヘッドを搭載し、第1方向に移動する移動手段と、光源と、前記光源から発せられた光を受光する受光器とを有し、前記光源と前記受光器との間に検査対象の吐出口から吐出されたインク滴を通過させたときの前記受光器の出力変化に基づいて前記検査対象の吐出口の吐出状態の検査を行うことが可能な検査手段と、を備えるインクジェット記録装置であって、前記検査手段を搭載し、前記第1方向に移動する検査位置移動手段を備えることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インク滴を吐出する複数の吐出口からなる吐出口列を有する記録ヘッドを搭載し、第1方向に移動する移動手段と、

光源と、前記光源から発せられた光を受光する受光器とを有し、前記光源と前記受光器との間に検査対象の吐出口から吐出されたインク滴を通過させたときの前記受光器の出力変化に基づいて前記検査対象の吐出口の吐出状態の検査を行うことが可能な検査手段と、を備えるインクジェット記録装置であって、

前記検査手段を搭載し、前記第1方向に移動する検査位置移動手段を備えることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項2】

前記検査位置移動手段は、前記移動手段よりも高い位置精度を有していることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録装置。

【請求項3】

前記記録ヘッドの重量は、前記検査手段の重量よりも重いことを特徴とする請求項1または2に記載のインクジェット記録装置。

【請求項4】

前記移動手段の停止位置を取得する位置取得手段をさらに備え、

前記検査位置移動手段は、インクの吐出状態を検査する際に、前記位置取得手段で取得された停止位置に基づいて決定される検査位置に停止することを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項5】

前記移動手段の停止位置を取得する位置取得手段と、
前記記録ヘッドの傾き量を取得する傾き取得手段と、
前記位置取得手段で取得された停止位置と前記傾き量とに基づいて、インクの吐出状態を検査する際の前記検査位置移動手段の移動速度を決定する速度決定手段と、をさらに備えることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項6】

前記移動手段の停止位置を取得する位置取得手段と、
前記記録ヘッドの傾き量を取得する傾き取得手段と、
前記位置取得手段で取得された停止位置と前記傾き量とに基づいて、インクの吐出状態を検査する際に前記検査位置移動手段を停止させる複数の検査位置を決定する検査位置決定手段と、をさらに備えることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項7】

前記記録ヘッドは、前記吐出口列と並列して設けられた他の吐出口列を有し、
前記検査手段は、前記吐出口列の一部と前記他の吐出口列の一部とのインクの吐出状態を同時に検査することを特徴とする請求項1ないし6のいずれか1項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項8】

前記記録ヘッドは、前記吐出口列と並列して設けられ、前記吐出口列とは異なる種類のインクを吐出する他の吐出口列を有し、
前記インクジェット記録装置は、
インクの吐出状態を検査する際に前記吐出口列から吐出されたインクを回収する第1の回収手段と、
インクの吐出状態を検査する際に前記他の吐出口列から吐出されたインクを回収する第2の回収手段と、をさらに備えることを特徴とする請求項1ないし7のいずれか1項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項9】

前記第1方向と交差する第2方向に記録媒体を搬送する搬送手段をさらに備えることを特徴とする請求項1ないし8のいずれか1項に記載のインクジェット記録装置。